

令和4年度学校評価報告書

令和5年 3月10日

北海道教育委員会教育長 様

北海道礼文高等学校長 辻 伸也 印

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

・やる気をおこさせる学習指導	・やるべきはやらせる生徒指導
・やりがいを求めて挑戦させる進路指導	

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・学力の二極化、極端な低学力層の生徒もいるなかで、基礎基本の学力の定着は課題であるが、教職員は個に応じた学習指導に取り組んでいる。 ・スクールミッションを果たすべく、地域と連携した教育活動の充実は、今後も一層必要である。	・落ちついた学習環境で学ぶことができているのは、よいことではないか。 ・きめ細かな指導ができる礼文高校の魅力を今後も継続してほしい。 ・地域との連携では、すばらしい取組もみられる。 ・進学等にも対応した教育課程の編成と実施が必要ではないか。
改善方策	・今後も「個別最適な学び」の実現にむけて、ICT機器の活用が必要。 ・地域の人材をさらに活用しながら、グローバルな人材の育成を目指す。	
生徒指導	・大人しい生徒も多いなかで、挨拶や言葉づかい、礼儀、主体性を育む取組が必要である。 ・今後も教職員が一人ひとりに寄り添った丁寧な生徒指導を目指す。	・社会に出るための最低限必要な能力は身につけてほしいが、元気な挨拶等は、できているのではないか。 ・他者を尊重し、互いに支え合いながら生きていく力を身につけてほしい。
改善方策	・面談等での対話を通して、生徒理解を深める。 ・日頃の教職員間のコミュニケーションを密に図り、生徒の情報を共有する。	
進路指導	・多様な学力層でも、選抜性の高い大学への進学を目指す生徒の進路実現にも取り組む。 ・これから細かい丁寧な指導による生徒の進路実現を目指す。	・早い時期に目標を立てて、その実現にむけて指導できたことが良かったのではないか。 ・今後も、学力をしっかりとつけ、島内外で活躍する人材を育てて欲しい。
改善方策	・地域の人材を活用し、生徒の職業観を養うような進路講話を今後も実施する。 ・SUTや進学講習をさらに拡充し、さらなる学力向上を目指す。	
健康安全指導	・コロナ禍での消毒のほか、感染症対策に関する指導や健康相談、特別な配慮が必要な生徒への対応等が今後も重要になる。	・18歳で成人になることをふまえ、社会人になるために必要な精神面での成長も大事であると考えている。 ・コロナ禍であったが、今後は、町民にも顔が見えるよう、様々な交流を重ねてほしい。
改善方策	・現在の充実したきめ細かな健康安全指導体制を堅持する。	
公表方法	・PTA総会、学校評議員会等で公表 ・「礼高だより」への掲載Webページでの公開	

3 添付資料

令和4年度礼文高校自己評価アンケート（生徒、保護者、教職員）

